

2024～2025 年度クラブ運営方針
「生み出そう感謝される喜びを」

国際ロータリー第 2750 地区 多摩中グループ

東京昭島中央ロータリークラブ

TOKYO AKISHIMA-CHUO ROTARY CLUB



2025 年（令和 7 年）6 月 18 日（水）
第 1681 回例会報告

事務局 〒196-0034 東京都昭島市玉川町 3-10-1 ヒルパークハイツ 1F TEL 042-544-1001 FAX 042-544-1002

●本日の司会 (犀川 美佐緒 SAA)



●開会点鐘 (田畑 勝久会長)

●ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱

●本日のお客様

RI 第 2750 地区 多摩中グループ
ガバナー補佐 竹内 政司様
グループ幹事 山下 耕平様

●ご挨拶 (ガバナー補佐 竹内 政司様)



この度昭島中央ロータリークラブの皆様と再びお会いできましたこと、大変うれしく思っております。思い返せば、皆様と初めてお目にかかりましたのは、ちょうど 1 年前、昨年 7 月 24 日（水）の例会でした。その際、ご挨拶の機会を頂戴し、大変緊張しながら

も、温かく迎えていただいたことを、今でも昨日のこのように思い出します。

この 1 年間、田畑勝久会長、岡野和弘幹事をはじめ、昭島中央ロータリークラブの皆様には、たいへんお世話になりました。心より御礼申し上げます。昭島中央ロータリークラブの皆様が、地域に根差した活動を地道に、そして熱意をもって継続されている姿に、私自身、深く感銘を受けております。社会への貢献とクラブ内の親睦を大切にされるその姿勢こそが、ロータリー活動の本質であり、私がこの場に立てているのも、皆様の取り組みのおかげと実感しております。

また、クラブテーマである「生み出そう、感謝される喜びを」のもと、会員の皆様心が一つにして活動に取り組まれていること、本当に素晴らしいことだと思います。

現在、多摩中グループでは 13 クラブがほぼ毎月協議会

を開催しておりますが、その中でも田畑会長は、実直なお人柄とリーダーシップで、仲間から非常に信頼されている存在です。協議会でも田畑会長の一言により、全体が一気にまとまりを見せる場面が幾度もあり、私自身、多くの場面で助けていただきました。その存在感と影響力に、あらためて感謝申し上げます。

本日は、その感謝の気持ちを込めて、田畑会長と岡野幹事に、ささやかながら感謝状をお渡ししたく、ご用意させていただきました。これは形式的なものではなく、私と山下幹事、二人の心からの感謝の気持ちとして、お受け取りいただけましたら幸いです。



●会務報告 (田畑 勝久会長)



皆様こんばんは。まずご報告です。このたび、当クラブがロータリー財団寄付 3 部門達成クラブとして、また米山記念奨学会への特別寄付において寄付者割合 90% を達成したクラブとして、地区 2750 地区より表彰をいただきました。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、6 月とは思えない暑さが続いており、気温が 35 度に達する日も出てきました。皆様、体調にはくれぐれもお気をつけください。

この機会に、竹内ガバナー補佐、山下グループ幹事へも感謝を申し上げます。1 年半の間、本当にありがとうございました。私はロータリーについて分からないことも多いまま、会長職をお引き受けしましたが、竹内ガバナー補佐から多くのことを学ばせていただきました。

また、今年の地区大会の折には、立川ロータリークラブの平井会長、そして竹内ガバナー補佐とともに銀座に行く機会がありました。最初にウイスキーを一気飲みしてしまい、「あ、ここは銀座だった」と気づいてからは、水と並行して飲むことにしたのも今となっては良い思い出

です。

私がロータリーに入会したのは、今から16年前、星野初代会長から会社に呼び出されたことがきっかけでした。何か叱られるのかと思いきや、「ロータリークラブって知ってるか?」と聞かれ、「知ってます!」と即答したところ、「じゃあ入れ!」と。その場で「はい、入ります!」と返事をしたのが始まりです。その後、本田会長の時代に正式に入会し、まさか15年後に自分が会長を務めることになるとは夢にも思っていませんでした。しかし、本当に素晴らしいグループ、そしてガバナー補佐・グループ幹事、同期の会長幹事に恵まれ、充実したロータリー活動を送ることができました。



● 幹事報告

(岡野 和弘 幹事)



6月12日(木)18時より多摩中グループ新旧会長・幹事合同引継ぎ会が「ホテルエミシア東京立川」にて行われ、田畑会長と幹事の私、岩本会長エレクトと柴田副幹事、事務局の羽鳥さんで参加しました。竹内本年度ガバナー補佐と立川こぶし RC 所属の河村次年度ガバナー補佐からそれぞれご挨拶をいただき、また、それぞれ新旧会長幹事を紹介していただきました。

6月16日(月)15時より第3回クラブ会長幹事会が「ホテル雅叙園東京」にて開催されました。田畑会長、地区会計の椎名会員、ロータリー財団委員会・財団資金推進委員会委員長の須田会員と幹事の私で参加しました。伊藤千恵ガバナーより今年度の報告がされたほか、各グループのガバナー補佐からそれぞれ年次報告がありました。

6月8日(日)にマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ RI 会長エレクトが辞任をされたということで、その後には会長エレクトとして、イタリアのフランチェスコ・アレッツォ氏が選任されたとの報告が地区よりありました。次年度の会長メッセージと次年度地区方針についても、大きく変わることはないということで、次年度の影響は最小限に留められる見込みです。

6月17日(火)18時より翠鳳楼にて次年度のSAA炉辺会議が行われました。岩本エレクト、柴田副幹事ほか次年度SAAのメンバー参加のもと、次年度例会運営におけるSAAの役割の確認や次年度各例会の司会担当者の報告がありました。

本日例会終了後、理事会を開催しますので、理事の皆様は理事会のご出席をよろしくお願いいたします。

● 卓話「各委員長活動報告Ⅱ」

本田 征勇 クラブ管理運営委員長



皆さま、こんばんは。各委員会の具体的な報告は、それぞれの委員長からお話しいただけるかと思いますので、私からは本年度の大きな出来事である例会場の移転についてご報告させていただきます。

今年度、長らく使用していた昭和館が閉館となり、新たに現在の会場へと移転いたしました。この移転に際しましては、私が中心となって調整を進め、細かな点まで詰めさせていただきました。特に、初代会長である星野様、西武信用金庫の理事長様、そして竹内支店長様には多大なるご協力をいただきました。もしこの方々のご支援がなければ、一時は立川方面への移転も検討され、かなりの費用負担が予想されておりました。

現在の例会場は、家賃も不要という大変恵まれた条件でお借りすることができ、他クラブと比較しても非常に優れた環境だと自負しております。まさに、田畑会長の年度にふさわしい、記憶に残る事業となりました。また、ゴミの持ち帰り、禁煙、路上駐車禁止など、会員の皆さまがルールを守ってくださったおかげで、現時点では問題なく使用を継続できております。今後もこの良好な関係を保ち、末永くこの会場を使わせていただけるよう、引き続き皆さまのご協力をお願い申し上げます。

曳地 義正 会員増強委員長



皆さま、こんばんは。1年間ご協力いただき、誠にありがとうございました。

本年度の基本方針は以下の通りです。「会員増強はロータリーの目的ではありませんが、クラブの活動を発展・継承し、存在意義を高めるための重要な手段である。新会員の入会によってクラブ内が活性化し、既存会員にとってもロータリーを再認識する機会となる。」

活動計画としては、クラブ協議会を開催し、会員に会員増強の重要性を認識してもらうこと、会員からの意見収集、情報委員会や青葉委員会と協力し、退会防止にも努めること、を目指してまいりました。

実際の活動としては、昨年7月24日(水)にクラブ協議会を開催し、増強に関する意見交換を行いました。また、入会候補者の有無を確認し、先月には再度、ダイレクトメールにて各会員へご協力をお願いしました。現時点で具体的な成果は出ておりませんが、引き続き来年度へつながる動きとして、意味ある活動だったと感じております。もう少し早く動ければとの反省もありますが、この流れが継続されることを願っております。

石岡 孝光 情報委員長



皆さま、こんばんは。1年間の活動報告をさせていただきます。基本方針としては、ロータリアンとして正しい知識を学び、会員間で情報を共有し、クラブの運営活性化を図ることを掲げました。具体的には、以下3つの事業を計画しました。

☆ガバナー月信や『ロータリーの友』から有益な情報を伝

達する→例会での配布など従来の形式は継続しましたが、残念ながら本年度は新たな取り組みができず、私の力不足を痛感しております。

☆青葉会員向けに懇談会や研修会を開催し、ロータリー知識の浸透を図る→2月7日(金)に中神の「ルカル」にて、青葉会との合同で懇談会を開催し、活発な意見交換を行いました。青葉会の皆さんは事業・奉仕活動への参加も非常に積極的で、ロータリアンとしての自覚を感じました。ただし、地区活動や他クラブへのメイクアップ等にはまだ不慣れな方も多く、今後の成長に期待しております。

☆地区大会や他クラブへの参加を促進する→私自身は地区大会や他クラブへのメイクアップに参加しましたが、それを会員全体へ啓発・周知する取り組みは不十分であったと反省しております。

総じて、本年度は私の委員長としての責務を十分に果たせなかった部分も多く、反省の多い一年となりました。ただ、青葉会との交流や現場での気づきは次年度以降への糧になると信じております。

太田 剛青葉会委員長



皆さま、こんばんは。活動としましては、2月7日(金)に中神駅南口のフレンチレストラン「ルカル」にて、情報委員会との合同炉辺会議を開催いたしました。参加者は16名でした。当日は、田畑会長、岡野幹事、本田クラブ管理運営委員長にもご出席いただきました。

須田ロータリー財団委員長より、ロータリー財団の仕組み、歴史、組織、寄付の種類や使い道などについてご丁寧にご説明いただきました。また、内藤パスト会長からは、昭島中央ロータリークラブの定款・細則をきちんと読むことの重要性、「今日からロータリアン」という書籍の紹介、幹事・会長職を目指す際に役立つ「ロータリー情報マニュアル」の推奨など、貴重なご助言をいただきました。懇親会では、情報委員会の諸先輩方との交流、青葉会メンバー同士の親睦も深まり、有意義な会合となりました。

ただし、委員長としての活動開始が遅れ、結果的に会合を1回しか開催できなかったことを深く反省しております。また、中野会員からの講話オファーを実現できなかったことも、大変申し訳なく思っております。次年度の委員長には、しっかりと引き継ぎをしてまいりますので、引き続きご支援のほどよろしく願いいたします。

中澤 紀之広報・会報・IT委員長



皆さま、こんばんは。活動の中では、急な欠員が出た際にも、メンバーがすぐにフォローし合い、温かく支え合える素晴らしいチームだったと実感しております。皆さん、本当にありがとうございました。

主な活動内容としては、会合やイベントの写真撮影、会報の原稿チェックなどを行いました。特に羽鳥さんが毎回、例会や宴会の記録をまとめ、会報を作成してくださっている姿を間近で見て、その作業の大変さとありがたさを実感しました。

当初は紙に印刷して会報のチェックを行っていましたが、次第にパソコン上での確認に移行し、最終的にはAIツールを活用して文章チェックを行うようになりました。AIに指摘を受けながら、自分たちでも読み直すことで、

より良い誌面づくりに努めることができたと思っています。この一年を振り返ると、「AIに助けられ、仲間に助けられた一年」だったと感じております。1年間、ありがとうございました。

石岡 純親睦委員長



皆さまこんばんは。まずは、本田クラブ管理運営委員長、磯野副委員長、そして親睦委員会の皆様、1年間のご協力に心より感謝申し上げます。

親睦委員会の三大大事は「親睦旅行」「クリスマス例会」「観桜例会」です。

■ 親睦旅行 10月20日(日)・21日(月)

広島・宮島方面へ1泊2日の旅行を実施し、32名が参加。厳島神社や原爆ドームなどの世界遺産を訪れました。不慣れな私を気遣い、田畑会長、若杉奉仕プロジェクト委員長、柴田副幹事の3名が8月に見学旅行を計画してくださったおかげで、当日は安心してご案内ができました。厚く御礼申し上げます。

■ クリスマス例会 12月11日(水)

59名の会員・ご家族が参加。女性4人組のジャズバンドによるミニコンサートを開催しました。実は演奏者のお一人が「昭島駅」と間違えて「昭和島駅」に向かってしまい、リハーサルに間に合わず冷や汗をかく場面もありましたが、無事に開始直前に到着し、何とか開催できました。この行事では、未熟な私を支えてくださった鈴木栄パスト会長には企画全般で、岡野恵子パスト会長にはパンフレット印刷でご協力をいただきました。ありがとうございました。

■ 観桜例会 3月26日(水)

立川の「成田屋」さんで35名が参加。桜を眺めながらの懇親を目指し、指田会員に桜の手配をお願いしましたが、開催直前まで開花が読めませんでした。当日は見事に満開の桜で装飾された店内に感動しました。

以上のように、無事に1年間の委員長職を務められたのは、多くの会員の皆様のご支援のおかげです。次週の最終例会での懇親会を残しておりますが、よい学びの1年となりました。心より御礼申し上げます。

桜井 慶太青少年委員長



皆さまこんばんは。1年間、多くの方々にご協力いただき、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

■ 野球教室 12月22日(日)

本委員会のメイン事業である野球教室を開催。木田優夫名誉会員をはじめ、現役のプロ野球選手にもご参加いただき、未来ある子どもたちにとって大変有意義な機会となりました。田畑会長には豚汁の準備でもご協力いただき、感謝申し上げます。

■ ロータリーハイ 2月11日(火)

12月の野球教室に参加した子どもたちが努力を重ね、その成果を発揮した熱戦を観戦することができました。

■ 走り方教室 4月12日(土)

昭島市総合スポーツセンター体育館にて、日本ランナーズの齊藤理事長を講師にお招きし、サッカー選抜の子どもたちに向けて体の動かし方やストレッチ等を指導いただきました。子どもたちにとって貴重な体験になった

と思います。

須田 宏樹ロータリー財団委員長



皆さまこんばんは。本年度は「ロータリー財団の理解を深める」ことを基本方針とし、年次基金・ポリオプラス基金・恒久基金の3部門での寄付達成を目標に活動してまいりました。おかげさまで、5月31日時点で3部門すべてを達成し、地区表彰を受けることができました。特に、若杉パスト会長にはベネファクターとしての多大なご協力をいただき、改めて厚く御礼申し上げます。

活動としては、青葉会における「財団デー」での啓発活動や、10月の「ポリオデー」には私自身がポリオウォークに参加。また、地区財団委員会の活動にも参画しました。

我がクラブは、毎年この3部門を達成している誇るべきクラブです。来年度も引き続き、皆様のご協力をお願い申し上げます。

我がクラブは、毎年この3部門を達成している誇るべきクラブです。来年度も引き続き、皆様のご協力をお願い申し上げます。

椎名 正明米山記念奨学委員長



皆さま、こんばんは。今年度は米山奨学生の受け入れがなかったため、実際的な活動は行うことができませんでした。ただ、地区のセミナー等には参加させていただき、そうした形での関わりで一年を終えることとなりました。

奨学生の受け入れについては、クラブ内でも様々なご意見があるかと思えます。ただ、過去に奨学生が在籍していた際には、海外との交流が活発に行われ、クラブ全体が活性化していたように思います。そうした意味でも、今後は前向きに受け入れについてご検討いただけたらと思っております。

せっかくの機会ですので、私が現在関わっております地区での活動についても少しご紹介させていただきます。

私は現在、地区の会計を担当しております。税理士という本業もあり、会計には多少の知見がありますが、それでも驚くほど厳格で丁寧な体制が敷かれていることに感心しました。毎月、私はガバナー事務所へ赴き、当月に支払うべきすべての支出について説明を受け、承認を行います。そのうえで支払いが実行されるという流れです。このようにしっかりとした運営体制が敷かれていることに、正直驚いております。

また、今年度の地区運営においては、ホテル料金の高騰などもあり、財政面がかなり圧迫されていました。特に、地区大会については【特別会計】で処理されるため、私の担当外で進行し、詳細までは把握できませんでしたが、今回は土曜日に開催されたにもかかわらず、無事に黒字で終わることができました。地区会計としても、ひとまず安心しております。

この後、決算処理を経て、今年の11月に開催される会長幹事会にて地区会計としての報告を行い、私の会計としての任務も終了となります。来年度は、地区監査の役割を担当させていただきます。引き続き、皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ニコニコBOX

(磯野 昇親睦副委員長)



◎田畑会長
竹内ガバナー、山下グループ幹事、1年半大変お世話になりました。

◎内藤会員
しばらく休んですみませんでした。

◎岡野幹事
竹内ガバナー政司ガバナー補佐、山下耕平グループ幹事、1.5年間お世話になりました。各委員長の皆様、1年間のご報告ありがとうございました。

◎岩本会員
竹内ガバナー補佐、山下グループ幹事、ご来訪ありがとうございます。委員長の皆様報告よろしく申し上げます。

◎椎名会員
竹内ガバナー補佐、山下グループ幹事、1年間お世話になりました。

◎宮下会員
委員長の皆様 1年間お疲れ様でした。

出席報告

(高田 啓太出席委員)



会員数	53名
出席義務会員	53名
本日の出席	38名

次週例会予定

(重森 元樹プログラム委員長)



6月25日(水) 18:30~
2024-25年度最終例会

閉会点鐘

(田畑 勝久会長)